

# 地域の多様性を防災力に 生かす



～日本語を母語としない方との協働をレゴ®  
をとおして考えよう～

## 【要旨】

日本国内での在留外国人数は年々増加しており、広島県内も同様に令和3年度では、5万人を超える人口になっています。広島は一大観光地で海外からの訪問者も多く、地方市町では労働を目的として長期間在住している方も多くなりました。地域の中で様々な文化を背景に持ち生活している方々の多様性を理解するとともに、日ごろからの包括・包摂性を考える機会を設けました。レゴ®を通して防災をみなさんで考えてみませんか。

- 13:00 - 13:20 挨拶 自治体へのアンケート結果（日本語を母語としない方と防災に関して）  
13:20～13:40 小口 悠紀子 先生(広島大学 准教授 日本語教育学)  
のご講義とワーク説明  
14:00～15:50 レゴ®を用いたワークショップ（こちらのみの参加も可能）  
15:50～16:00 まとめ

2024年 3月10日(日)  
13:00～16:00

(12:30受付開始)

場所:広島大学、千田キャンパス、地域連携フロア  
SENDA LAB(千田ラボ)

参加費: 無料 (先着順 40名様)



**申し込みは下記へお願いします。**

右のQRコードからどうぞ。または、メールにて下記  
事項を記入し送信してください。

名前、所属、連絡先電話（当日の緊急連絡のため）

Email: jyoseibosai@gmail.com

電話 & FAX : 082-257-5386

<主催・共催>



広島大学



特定非営利活動法人  
ひろしまNPOセンター

<後援>

広島市

